

高齢者の人権について

近年、日本では多くの高齢者（65歳以上）が生活をしています。「令和6年版高齢社会白書」（内閣府令和6年8月発行）によると令和5年10月時点の高齢者の人口は3,623万人で、この先さらに増加していくことが見込まれています。普段私たちは互いに支え合いながら生活を送っていますが、加齢とともに、他者の手を借りる機会がより増えていきます。

「2022（令和4）年国民生活基礎調査」（厚生労働省令和5年7月）の中で、介護が必要となった主な原因として「認知症」や「脳血管疾患」、「骨折・転倒」などが列挙されています。特に「認知症」は割合が高く、要介護者では23.6%に及びます。

今回は認知症を患った高齢者の行動の意図や心情を考えた上で、認知症ではない方も含めた高齢者の人権を守るために自分たちに何ができるか考えてみましょう。

ワーク1

認知症について、あなたが知っていることを書きましょう。

ワーク2

次の漫画の一場面を読んで考えてみましょう。

左画像のアルツハイマー型認知症の西村さん（80）は家事や洗濯をしますが、家の中にいる人に怒られてばかりです。



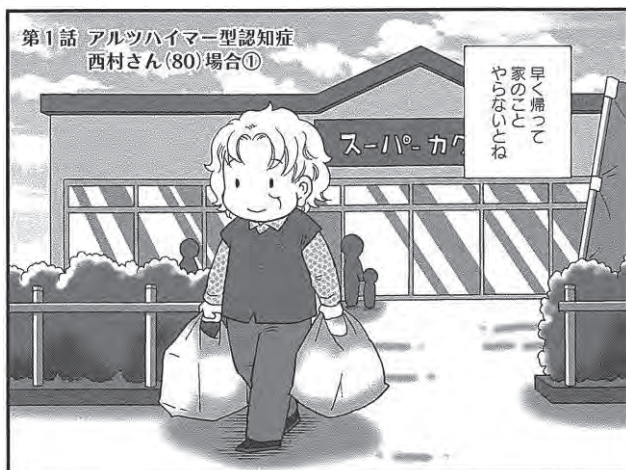
「消えていく家族の顔～現役ヘルパーが描く認知症患者の生活～」
（竹書房 2020年6月発行）より

©吉田美紀子／竹書房

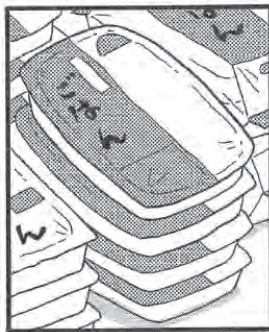
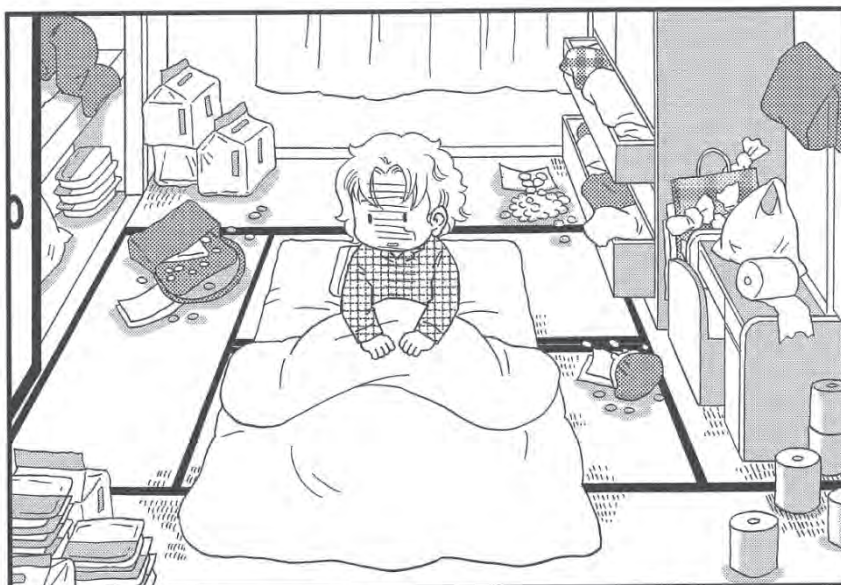
(1) この場面に登場する中央画像と右画像の人は誰だと考えられますか。また、なぜ西村さんはこの2人を「誰かしら」と思っているのでしょうか。

これは、西村さんの(ア)ある日の買い物と洗濯の様子、(イ)ある朝の場面です。

(ア)



(イ)



(注) 霞: ぼんやりとしか見えないこと。 戦慄: 恐ろしくて体がふるえること。

©吉田美紀子／竹書房

(2) (ア)を見て、それぞれの言動・行為を行った西村さんの意図を考えてください。また、(イ)の場面から読み取れることを箇条書きで書き出しましょう。

(ア) 西村さんの意図	(イ) この場面から読み取れること
-------------	-------------------

(3) (イ)の場面で、どうして西村さんは「戦慄^{せんりつ}」しているのでしょうか。理由を考えてみましょう。

--

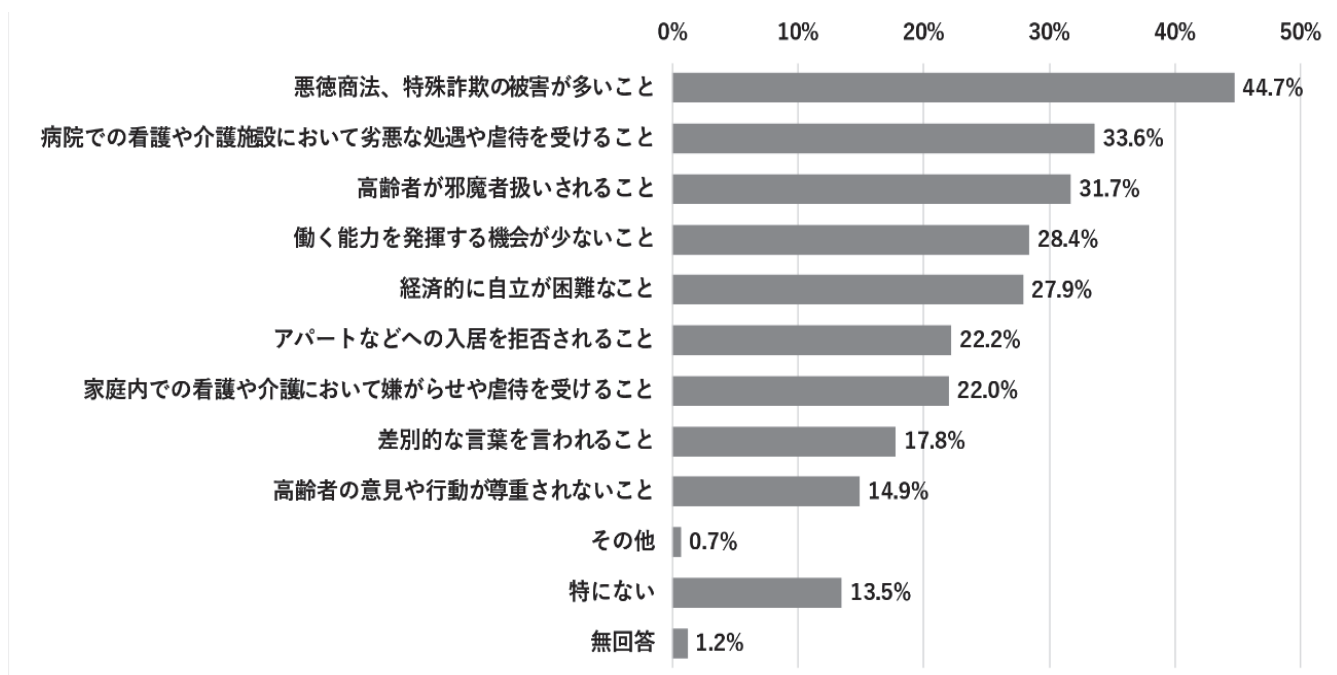
(4) 身近な人が認知症になった際、その人らしさを大切に、気持ちに寄り添いながらともに生活をするためにあなたができることは何か、考えて書いてみましょう。

--

ワーク 3

次のグラフから「高齢者の人権問題」について読み取りましょう。

高齢者に関し、体験したことや身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか？



令和6年政府広報オンライン「高齢者や障害者、子どもや女性に対する人権侵害をなくそう」より

(1) グラフから読み取れることや考えたことを書きましょう。

(2) 高齢者がともによりよい生活を送るために、どのような社会にしていけることが望ましいと考えますか。書いてみましょう。

解説 高齢者の人権について

1 ねらい

近年、日本では高齢化がますます進んでおり、私たちが暮らす神奈川県でも高齢者人口が増加傾向にある。加齢とともに、他者の手を借りる機会がより増えていくこうした状況下で残念ながら高齢者の人権が著しく損なわれる事件も多く発生している。今回は介護が必要となった理由として一番高い割合で挙げられている「認知症」に焦点を当て、漫画作品を通して症状の理解だけではなく当事者の言動の意図を考えた上で、患者の心に寄り添う姿勢を育みたい。また、グラフの読み取りを通して高齢者全体の人権を守るためにはどうすればよいかを考える態度を養いたい。

2 進め方

展開例（50分 3～4人の班を作る）

学習活動	指導上の留意点
1 ワーク1（10分） 認知症について知っていることを記入する。	・家族に当事者がいる可能性も踏まえ、授業を展開する。 ・周囲の人と意見交換をさせてもよい。 ・高齢者＝認知症というバイアスがかからないように配慮する。
2 ワーク2（20分） ①漫画に目を通した上で、漫画から読み取れることや認知症患者の言動・行為の意図を記入する。 ②記入した内容を班で共有する。 ③身近な人が認知症患者になった際に自身ができることを考える。	・できるだけ多く書き出すように促す。 ・まわりの意見を共感的に受け止めるようにする等、互いの意見を尊重するように促す。
3 ワーク3（20分） ①グラフから読み取れること、考えたことを記入する。 ②記入した内容を班で共有する。 ③高齢者がともによりよい生活を送るための社会づくりについて考え、記入する。	・できるだけ多く書き出すように促す。 ・ICT機器を使い、調べ学習をさせてもよい。

3 解説

ワーク1について

ワーク1で、生徒自身が知っている認知症についての知識を整理させたい。周囲と意見交換をさせ、知識を共有しながら認知症患者について理解を深める契機としてもよい。

なお、認知症には、今回の漫画で事例とされたアルツハイマー型認知症の他に、レビー小体型認知症、血管型認知症などがある。

ワーク2について

ワーク2では、漫画「消えていく家族の顔～現役ヘルパーが描く認知症患者の生活～」吉田美紀子著（竹書房2020年6月）から一部を抜粋し、認知症患者の行動・心理の理解を深め、気持ちに寄り添う姿勢を養うことを目的とした。

（1）では自身の娘を認識できない西村さんの様子をとらえさせたい。また、認知症患者の視点から見る介護者の様子を画像から読み取り、介護者としての関わり方についても併せて考えさせられるとよい。（2）では様々なことが読み取れるだろう。パックご飯を何度も購入してしまうこと、購入したものや衣類が同じ場所ではなく様々な場所に積まれていること、きちんと収納できていないことから整理整頓する能力も低下していることが分かる。小銭が多く残っていることから計算する機能も失われており、ドレッサーと思われる家具の上にポリ袋やトイレトペーパーなどが散乱していることから身だしなみに意識が向いていないことも読み取れる。その他、便器に詰められた衣類は西村さんが洗濯機と誤認していることなどを、言動をもとに考察させたい。また、当ワークはそれだけに留まらず、西村さんがなぜその行動を行っているのかという意図を問いかけている。パックご飯は決して自分のために購入しているのではなく、遠い昔の記憶であるかもしれないが、元をたどるとお腹を空かせた子どもたちのために購入しているなど「言動の真意」の部分に考えを巡らせたい。（3）では認知症患者がふとした時に正常を取り戻すこと、その時の恐怖や孤独感を追体験させたい。それらの設問から（4）では、自身の身近な人が認知症患者となった際に、その人の人権を尊重しつつどのようにともに生活をしていくのかを考えさせたい。

ワーク3について

ワーク3ではここまでの学習を踏まえ、高齢者全体の人権について考えさせたい。近年、高齢者の人権を著しく損なう事件や出来事が後を絶たない。

（1）ではグラフから高齢者のおかれている立場や状況を理解させることを目的としている。「詐欺の被害が多いこと」「劣悪な処遇や虐待を受けること」「邪魔者扱いされること」等の回答率が高いことから、様々な場面での高齢者の人権侵害を理解させたい。（2）ではこうした高齢者に対する諸問題が社会全体の問題であることに考えを巡らせ、高齢者がその人らしさを保ちながら暮らしていくためにどのような取組ができるか、適宜ICT機器の使用や班活動などによる共有も行いながら考えさせたい。

<引用文献等>

- ・「消えていく家族の顔 現役ヘルパーが描く認知症患者の生活」吉田美紀子 著 竹書房 2020年6月
- ・政府広報オンライン「高齢者や障害者、子どもや女性に対する人権侵害をなくそう」令和6年6月
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201309/2.html>

<参考資料>

- ・内閣府「令和6年版高齢社会白書」 令和6年8月
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2024/zenbun/06pdf_index.html
- ・厚生労働省「2022（令和4）年 国民生活基礎調査の概況」 令和5年7月
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/dl/14.pdf>
- ・内閣府「人権擁護に関する世論調査」 令和4年8月
- ・神奈川県・神奈川県教育委員会「HUMAN RIGHTS 人権を考える」 令和5年3月